

プレスリリース

フィデリティ証券株式会社

フィデリティ・ダイレクト、投信に特化したシンプルな ウェブ機能を本日よりリリース

- 複雑なファンド選択をよりやさしく、シンプルに -

2012年1月17日、東京 フィデリティ証券株式会社(東京都港区、取締役兼代表執行役社長: ジュディー・マリンスキー)は、投資信託で長期資産形成を目指す投資家をサポートするため、各種機能を拡充した新ウェブサイトの本日よりスタートいたします。

フィデリティ・ダイレクトは日本で唯一のグローバルな資産運用グループ傘下である強みを活かし、他のオンライン証券とは異なり、投信販売に特化した事業展開を行っています。業界全体を見ると、2009年以降はオンラインでの投信購入者が増加する一方で、販売されている投信の種類と数が多すぎることで、投資家にとって、長期資産形成の観点から適したファンド選択が必ずしも効果的に実現できてはいない、という問題がありました。フィデリティ・ダイレクトでは、今後の投信販売のオンライン化への加速を鑑み、オンライン取引の初心者にも投資家に適したファンド選択がしやすい、よりシンプルなサイト構成が必要、と考え今回のリニューアルに着手しました。

開発にあたっては、お客様の声や、各ページの閲覧行動などの分析を行ったうえで、特に非対面販売で課題となる投資家自身による『ファンド選択』や、購入時のきめ細かいサービスをネット上でいかに実現するか検討を重ね、また、オンラインという強みを活かして今後加速するタブレット端末での表示(シンプル&タッチ)も意識したサイトデザインとアイデアを取り入れています。

新ウェブサイトの主な改善ポイント:

新サイトでは、これまでも利用者の中で評判の高かったファンド検索やランキング情報をさらに充実させたほか、絞込み検索や他ファンドとの比較など、機能を大幅拡充させることで、投資家の「ファンド探し」「比較・検討」「購入」の3ステップをワンストップで簡単に行えるよう工夫されています。

主な改善ポイント

1. シンプルなメニュー表示と検索機能の拡充

投資信託人気の高まりと共に、ネット証券におけるファンドの取扱い本数が飛躍的に増加していますが、どのように選べば良いのかわからないという声が多いのも事実です。フィデリティ・ダイレクトは今回、投資家がファンド選びから購入の意思決定までワンストップでスムーズに行えるよう、ページメニューを必要最低限の3つに絞りました。また、検索機能を拡充し、キーワードを入力するだけで該当ファンドのほか、関連するテーマに紐づく市場レポートや各種情報をまとめて閲覧できるよう改善し、ファンド選びへの導入がスムーズに行えるよう工夫しました。

2. ランキング情報など、ファンドの絞込みに便利な機能を充実

顧客との対話を通じてファンドの絞込み・提案が行える対面販売とは異なり、投資家が関心を持つ複数ファンドの比較・検討の切り口をネット上のサービスで提供することは、ネット証券の課題のひとつとなっていました。

今回の刷新では顧客の閲覧頻度が高い「販売実績」や「運用実績」に加え、ファンド積立人気別や、ページ閲覧別などランキング情報を充実させ、投資家が購入に向け様々な切り口から比較・検討する際のサポー

トがより綿密にできるようになりました。また、検索条件を最大 180 日保存可能にしたほか、絞り込んだファンドのリスク・リターンマップをさらに絞り込む際、元の情報に戻ることなく更新できるようにするなど、投資家が購入に至るまでの意思決定のサポートができるよう、利便性を高めました。

3. 購入時に必要とする豊富な個別ファンドの情報を一元的に表示

個別ファンドページでは閲覧頻度の高い基準価額や分配金などの情報を大きく一元的に集約したほか、基準価額や純資産チャートを投資家が参照したい期間別に表示可能にし、投資家が自身の関心に応じた情報を能動的に閲覧できるよう工夫しました。また、実際の購入時に必要な約定日や受渡日、決算日などの確認ができる「ファンド・カレンダー機能」や、一括購入 / 積立といった購入方法別に購入時手数料を試算できるシミュレーション機能を一つの画面で表示し、個人がファンド購入の最終段階で必要とする確認をワンストップで行えるようにしています。

4. タブレット端末でも閲覧しやすいシンプルな構成・表示

タブレット端末などの急速な普及と共に、特に若い世代を中心に携帯端末での情報提供のニーズが高まっています。フィデリティ・ダイレクトではこうした流れを踏まえ、タブレット端末などでも見やすいようシンプルなタブ設定や見出しのアイコン化で対応する新しい構成・表示に刷新しました。

フィデリティ・ダイレクトでは、利便性の高いサービスのご提供を通じ、投資信託でお客様の長期の資産運用のサポートが出来るよう、引き続き各種コンテンツ、機能の拡充を進めてまいります。

<ご参考> 新機能のご紹介

リニューアルページの新機能の詳細は以下をご参照ください。

https://www.fidelity.jp/html/fskk/japanese/201201_renewal/index.html

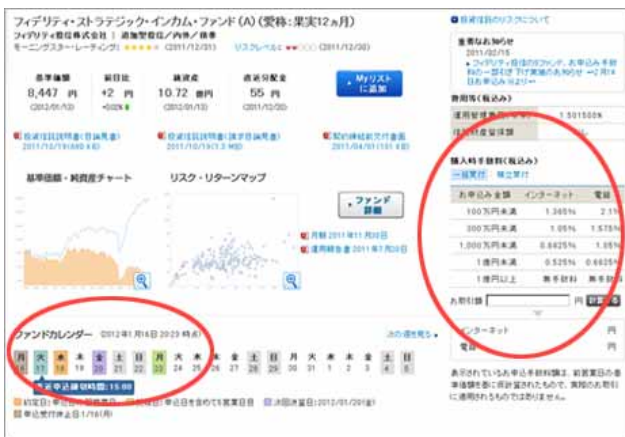


顧客がファンド選びから購入までワンストップで行えるシンプルなページメニューに刷新。今後普及するタブレット端末での表示を意識した大きなアイコン表示など新しいサイトデザインとアイデアを取り入れている。



検索機能を拡充し気になるワードを入れるだけで、候補ファンド一覧を表示。ファンドデータ以外の関連レポートや各種情報なども一括で検索が可能。

ランキング検索も様々な切り口で検索できるようテーマを豊富に。ランキング結果の中の項目別で並び替える等、様々な角度からファンドを比べることができる。



個別ファンドの購入時に必要な約定日や受渡日、決算日などの情報閲覧や購入時手数料のシミュレーションが手軽にできる。

フィデリティ証券について

フィデリティ証券株式会社は、独立系で資産運用業務をグローバルに展開するフィデリティ・ワールドワイド・インベストメントの傘下企業です。日本では1997年12月開業、「フィデリティ・ダイレクト」というサービス名称のもと、投資信託を中心とした個人の長期的資産形成を支援するサービスに特化しています。外資系では日本で唯一のインターネット証券です。自社グループが運用する投資信託だけでなく、他社商品も幅広く取り扱い、2011年12月31日現在、フィデリティ投信及び当社グループが運用する投資信託38本、他社が運用する投信247本の合計285本を提供しています。

投資信託に関する手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。(税込み)

申込時に直接ご負担いただく費用

- ・申込手数料(申込口数、代金、又は金額に応じ、基準価額に対して、最大3.15%)

換金時に直接ご負担いただく費用

- ・信託財産留保金(換金申込日の基準価額に対して最大1.0%)

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- ・信託報酬(信託財産の純資産総額に対して、年最大年率2.4675%、但し、純資産総額が減少した場合等、実質的にこれを上回ることがあります。)

その他詳細は各商品の目論見書をご確認ください。

なお、上記の手数料等の合計額につきましては、ご投資家の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資信託のお取引にあたってのリスクについて

ファンドは、株式、公社債などの値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動し、したがって投資元本及び利息の保証はありません。よって、保有期間中もしくは解約又は売却時の投資信託の価額は、ご購入時の価額を下回ることもあります。こうした運用の損益はすべて投資信託をご購入のお客さまに帰属します。また、運用状況によって収益分配金の支払額は変動することがあり、あるいは支払われない場合があります。

投資信託は、預金又は保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。投資信託説明書の入手方法についてはフィデリティ証券にお問い合わせ下さい。

当社の概要

(商号等) フィデリティ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号(加入協会) 日本証券業協会

PI120117-1